

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成19年7月19日(2007.7.19)

【公開番号】特開2007-126486(P2007-126486A)

【公開日】平成19年5月24日(2007.5.24)

【年通号数】公開・登録公報2007-019

【出願番号】特願2007-40121(P2007-40121)

【国際特許分類】

C 07 C 67/287 (2006.01)

C 07 C 69/716 (2006.01)

【F I】

C 07 C 67/287

C 07 C 69/716 Z

【手続補正書】

【提出日】平成19年5月31日(2007.5.31)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

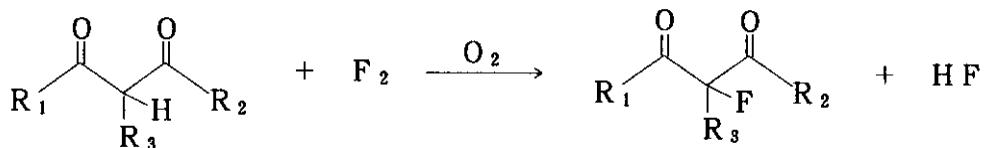
【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

以下の反応スキーム

【化1】



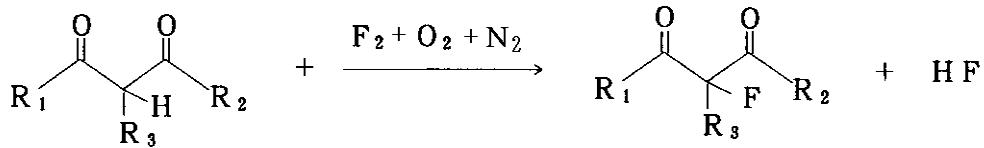
(式中、R<sub>1</sub>はH、アルキルまたはアルコキシであり、R<sub>2</sub>はH、アルキルまたはペルフルオロアルキルであり、R<sub>3</sub>はH、C1、Br、Iまたはアルキルである)

によって表される fluor 化方法。

【請求項2】

以下の反応スキーム

【化2】



(式中、R<sub>1</sub>はH、アルキルまたはアルコキシであり、R<sub>2</sub>はH、アルキルまたはペルフルオロアルキルであり、R<sub>3</sub>はH、C1、Br、Iまたはアルキルであり、F<sub>2</sub> + O<sub>2</sub> + N<sub>2</sub>は10～20%のF<sub>2</sub>、10～20%のO<sub>2</sub>および60～80%のN<sub>2</sub>からなるガス混合物を意味する)によって表される fluor 化方法。

【請求項3】

生成した - 弗素化 - - ジカルボニル化合物を、10～20%のF<sub>2</sub>、10～20%

のO<sub>2</sub>および60～80%のN<sub>2</sub>からなるガス混合物で沸素化することをさらに含む請求項2記載の方法。